

発行
北海道ポーランド文化協会

〒060-0018
札幌市中央区北 18 条
西 15 丁目 3-19 安藤方
電話・FAX 011-556-8834
hokkaidopolandca@gmail.com
http://hokkaido-poland.com/

POLE

第 89 号 2016. 9. 1
北海道ポーランド文化協会 会誌

北海道ポーランド文化協会
東京事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂 9-6-29-309
音響計画株式会社 霜田気付
電話 03-6804-1058
FAX 03-6804-6058

総会&お茶の会 にお越しく下さい!

どなたも
入場無料
ケーキつき

第30回定例総会とお茶の会(お知らせ)

日時 2016年10月29日(土)総会 14:30～、お茶会 15:30～

会場 北海道大学クラーク会館 3F 国際文化交流活動室(北8西8)

総会・お茶会に参加して、これからの協会の在り方や行事についてアイデアを交換しましょう。

一人ひとりの創意工夫から協会の新しい活動が生まれます。音楽、詩歌、演劇、ダンス、絵画、映画、文学、歴史から料理まで、ポーランドと日本・北海道の文化交流にかかわる多彩な企画を歓迎します。

お茶会では、ヨーロッパで歌姫として活躍したテイコ・キワ(喜波貞子)の人形の物語「わたしはテイコです」の紙芝居(田村和子作)が日本語とポーランド語で上演されます(朗読 熊谷敬子、ラファウ・ジェプカ)。



テイコは長崎医学校のオランダ人教官の孫で日本人の血を受け継いだオペラ歌手です。岩手県在住の芸術家児玉智江さんが素晴らしい原画を描きました。

また6月の東京例会、2月の雪まつり国際雪像コンクールの写真の紹介もあります。

(上) 第 29 回総会・出版
祝賀会 (2015.10.17、ホテ
ルガーデンパレス)

(右) 第 28 回総会・懇親
会 (2014.10.31、北大クラ
ーク会館)



発行
北海道ポーランド文化協会

〒060-0018
札幌市中央区北 18 条
西 15-3-19 安藤方
電話・FAX 011-556-8834
hokkaidopolandca@gmail.com

POLE

第 90 号 2017. 1. 25
北海道ポーランド文化協会 会誌

北海道ポーランド文化協会
東京事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂 9-6-29-309
音響計画(株) 霜田気付
電話 03-6804-1058
FAX 03-6804-6058

第 30 回定例総会&お茶の会報告

2016 年 10 月 29 日(土)14 時 30 分から、北海道大学クラーク会館 3F 国際文化交流活動室において、第 30 回定例総会が開催されました。会員 17 人が出席し、塚本智宏さんの議長で、所定の議案はすべて承認されました。

つづいてお茶の会にはポーランド人 6 人を含めて 25 人が参加し、ケーキ・チーズ・お茶とポーランド人差し入れのワインで賑やかに歓談しました。

写真撮影のあと岩手県在住の作家・翻訳家の田村和子さんから贈られた紙芝居「わたしはテイコです」(絵 児玉智江)が熊谷敬子さんとラファウ・ジェプカさんの朗読で披露され、みんな棒付きキャンディをなめなめ童心に戻りました。

ついで世界伝統空手道連盟から「生涯大使」の称号を与えられた霜田千代磨さんのスライド付きの報告、最後に尾形芳秀さん撮影の、さっぽろ雪まつりに参加したポーランド雪像チームと、遠藤郁子さんが出演した東京例会のスライドショーと、和やかで温かい雰囲気の会になりました。(小林暁子)

「わたしはテイコ」を読んで

さあ、紙芝居がはじまるよ。
坊っちゃん、嬢ちゃん、集まって
待っている子にはアメをあげるよ

事務局の小林さんが、やるからには思いっきり楽しめようとはばかり、ペコちゃんの棒付きアメの大袋を差し出して、始まる前に配りましょうと援護して下さいました。そんなこんなで怖いもの知らずの紙芝居の“オネエサン”が紳士淑女の皆様を前に無礼講の口上をのべての始まり、始まり……

物語は一枚毎に私の日本語のあとラファラさんがポーランド語で語ります。秒速よりさらに小刻みなポーランド語は唇、舌の最速の振動で、時々心情を吐露する表現などが豊かに伝わって来ました。

紙芝居のストーリーは前号で作者の田村さんによるご紹介もありましたので割愛しますが、手作りの温かな紙の風合いや、彩りのやさしい感性が悲劇をよりクローズアップするように伝わってきます。「忘れないでください」と叫ぶテイコ人形の言葉は、犠牲となったカミラさんや膨大な数の民族の声を代弁して強く心に響きました。

ポーランド語のシャワーを存分に浴びながらの紙芝居は滅多に経験出来るものではなく、内容面からも奥深い企画だったと思います。学生時代に強制収容所まつわるものをむさぼり読んだことが急に甦って、源泉に立ち返るよう自分を意識できた気がします。今後の協会の活動がまたどんな出会いと学びをもたらすか期待が膨らんでいます。

以上、熊谷敬子でした。



(左) M・ジェプカ、小笠原正明、R・ジェプカ、(中左) R・ジェプカ、J・ヴィシュコフスカ、R・コムダ、坂田朋優、安藤むつみのみなさん、(中右) 紙芝居「わたしはテイコです」の上演(朗読 ラファウ・ジェプカ、熊谷敬子)と(右) 展示

第 30 回定例総会議案

(議長 塚本智宏)

第 1 号議案 2016 年度(2015.10-2016.8)活動報告
について(報告 小林暁子)

1. 《第 29 回定例総会・『創立 25 周年記念誌』出版
祝賀会》、2015 年 10 月 17 日(土)総会 16:00～、
祝賀会 17:15～20:00、ホテル札幌ガーデンパレ
ス 4F 真珠の間、参加者:総会 18 人、懇親会・日
本人 32 人、ポーランド人と家族 25 人、来賓:ポ
ーランド広報文化センター・ミロスワフ・ブワシチャ
ック所長
2. 例会
 - (1)《第 74 回例会》講演会:久山宏一:ポーランド映画
『灰とダイヤモンド』の成立と受容、2016 年 2 月 5
日(金)18:30～20:30、札幌エルプラザ 4F 中研
修室、共催:ポーランド広報文化センター、参加
者約 40 人
 - (2)《第 75 回例会》講演会:新井藤子:ピウスツキと日
本、北海道、先住民族～2020 年東京五輪までに
意識しておきたい人物史、2016 年 2 月 20 日(土)
14:00～16:00、札幌エルプラザ 4F 中研修室、参
加者約 30 人
 - (3)《第 76 回例会》朗読とお茶の会:午後のポエジア 6、
出演:斎田道子、レナタ・シャレック、小林暁子、ミ
ハリナ・ミコワイチャック、若松雅迪、熊谷敬子、斉
藤征義、松永吉史、菅原みえ子、長屋のり子、ラ
ファウ・ジェプカ、浅井雄介、バルバラ数井、花季
汀蘭、霜田千代麿、福原光篠、河村恵李アンナ&
明希カリナ、ミコワイ・ジェプカと仲間たち、ヨアン
ナ・ヴィシユコフスカ、2016 年 6 月 4 日(土)14:00
～18:00、北大クラーク会館 3F 国際文化交流活
動室、共催:ポーランド広報文化センター、参加
者約 60 人
 - (4)《第 77 回例会》(第 2 回東京例会)遠藤郁子ピアノリ

サイタル:シヨパンと私とポーランド、2016 年 6 月 23
日(木)18:30～、レセプション 20:00～21:00、駐日
ポーランド共和国大使館ホール、共催:ポーランド
広報文化センター、参加者約 100 人、来賓:ツイ
リル・コザチェフスキ駐日ポーランド共和国大使

3. 会誌「ポーレ」第 87 号(2016 年 1 月 15 日)、第
88 号(4 月 25 日)発行
4. 運営委員会:2016 年度(1)2015 年 10 月 2 日、
(2)11 月 30 日、(3)2016 年 1 月 25 日、(4)3 月
30 日、(5)6 月 6 日、(6)8 月 22 日
5. 後援/共催等事業
 - (1)〈後援〉ポーランド映画祭 2015 in 札幌、2016 年
2 月 6 日(土)11:00～開幕挨拶:ポーランド広報
文化センター所長ミロスワフ・ブワシチャック、上映
作品:『エヴァは眠りたい』1957 タデウシュ・フミ
レフスキ監督、『約束の土地』1974 アンジェイ・ワ
イダ監督、『ヴァバンク』1981 ユリウシュ・マフルス
キ監督、札幌プラザ 2・5、主催:ポーランド広報文
化センターほか
 - (2)〈共催〉第 67 回さっぽろ雪まつり第 43 回国際雪像
コンクールにポーランド、シュラルスカ・ポレンバ
市の「ヤロメリ」チームが再挑戦、2016 年 2 月 4
日(木)～8 日(月)、大通西 11 丁目国際広場、主
催:駐日ポーランド共和国大使館
 - (3)〈後援〉NPO 法人まざるか北海道第 5 回東日本
大震災被災者支援コンサート「私たちは忘れない!」、
ピアノ演奏:遠藤郁子、2016 年 3 月 6 日(日)
14:46～、光塩学園 koen 天秘ホール
 - (4)〈後援〉l'amitié ラミティエ～保育者・教員養成校
教員有志によるコンサート、2016 年 3 月 21 日(月)
13:30～、六花亭札幌本店 6F ふきのとうホール
 - (5)〈後援〉北大祭 IFF2016 ポーランド料理テント



(左・前列) 小林暁子、小笠原正明、霜田千代麿、安藤厚、川染雅嗣、富山信夫、井上紘一

(右上) 塚本智宏総会議長、(右下) 小林暁子事務局長、佐々木保子会計担当

(写真 松山敏)

“Polski Namiot”、2016年6月2日(木)～5日(日)9:00～21:00、北大総合博物館付近、主催：北海道大学ポーランド人留学生会、協賛：ポーランド広報文化センター

(参考)2016年度の会員の動向：入会6人、退会6人。会員数：88人(2016.8.31現在)

第2号議案 2016年度収支決算報告について(別紙のとおり)(報告 佐々木保子)

第3号議案 2017年度(2016.9-2017.8)活動計画について(提案 小林暁子)

1. 《第30回定例総会・お茶の会》、2016年10月29日(土)総会 14:30～・お茶会 15:30～、北大クラーク会館 3F 国際文化交流活動室
2. 《第78回例会》レクチャーコンサート：ショパンとバロックの精神～スティル・ブリゼの応用を通して、出演：加藤一郎、久保田友、國谷聖香、坂田朋優、長崎結美、田口綾子、2016年10月2日(日)13:30～、札幌大谷学園百周年記念館同窓会ホール
3. 《第79回例会》アンジェイ・ワイダ監督を偲んで、お話：中島洋、ビデオ上映『地下水道』『灰とダイヤモンド』、2016年12月5日(月)18:00～22:00、札幌エルプラザ 4F 大研修室
4. 朗読会：午後のポエジア7、2017年6月頃
5. 会誌「ポーレ」第89号(2016年9月1日)、第90号(2017年1月)、第91号(同5月)発行
6. オンライン広報の強化

第4号議案 2017年度予算(案)について(別紙のとおり)(報告 佐々木保子)

第5号議案 2017年度役員等案について(提案 小林暁子)

(会則第6条に基づく役員) 新任

会 長：安藤厚

副 会 長：小笠原正明、霜田千代麿

運営委員：新井藤子、安藤むつみ、薄井豊美、越野剛、小林美保、佐々木保子、霜田英麿、園部真幸、高橋健一郎、塚本智宏、富山信夫、中島洋、松井亜樹、アグニェシュカ・ポヒワ、ラファウ・ジェプカ

事務局長：小林暁子

監査委員：齋田道子、野村信史

(会則第15条に基づく事務局、会誌編集委員会および部会)

事務局：(事務局長)小林暁子、(会計)佐々木保子、(副事務局長・広報)越野剛、(渉外)ラファウ・ジェプカ
会誌編集委員会：熊谷敬子、越野剛、塚本智宏、松山敏、ラファウ・ジェプカ

(会則第16条に基づく東京事務所)

東京事務所：(所長)霜田英麿、(副所長)熊倉ハリーナ

第6号議案 会則および、会費についての細則の改正について(2016年10月29日改訂)(提案 安藤厚)

【会則の改正】

第17条 〈…〉2017年度(2016.9.1-2017.8.31) 主な役員は以下の通りとする。

監査委員 齋田道子、野村信史

【会費についての細則の改正】

削除

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、8月31日におわる。ただし、~~2016~~会計年度は~~2015~~年10月1日にはじまり、~~2016~~年8月31日におわる。(ただし書きは、~~2016~~年9月以降削除する。)

総会出席会員17人、全議案が承認されました。

《第78回例会》報告 レクチャーコンサート：ショパンとバロックの精神～スティル・ブリゼの応用を通して、2016年10月2日(日)13:30～、札幌大谷学園百周年記念館同窓会ホール

加藤一郎先生を迎えて

このたび、国立音楽大学の加藤一郎准教授をお招きして、レクチャーコンサートを開催しました。加藤先生はたいへん素晴らしいピアニストですが、ショパンに関する著作、論文を沢山書かれている研究者でもあり、今回はスティル・ブリゼ(Style brisé)の技法に焦点を当てて講演していただきました。

当日は、以前から加藤先生とご親交のあった熊谷玲子、高岡立子両先生をはじめ札幌大谷大学・同短期大学の先生方にも多数お越しいたごき、小さな会場に約70人もの大勢の方にご来場いた

だきまして心からお礼申し上げます。

演奏者の皆様、当日お手伝いいただきました運営委員の皆様、また岡本孝慈先生にはたいへんお力添えを賜りまして、心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。(松井亜樹)



(左) 安藤厚、長崎結美、加藤一郎、久保田友、國谷聖香、田口綾子、坂田朋優、松井亜樹の各氏(写真 松山敏)

2016年度 収支決算書 (自2015年10月1日～至2016年8月31日)

(単:円)

【収入の部】	予 算	決 算	備 考
会費	200,000	150,500	全額の56%(会計年度変更の影響)
寄付金	30,000	33,600	
雑収入	30	50,067	貯金利子、25周年記念誌助成金(前年度立替分)
小 計	230,030	234,167	
前期繰越金	370,527	370,527	ゆうちょ銀行355,266円+現金15,261円
合 計	600,557	604,694	
【支出の部】			
事業費	150,000	179,820	第29回総会・祝賀会9.4万、第74回<映画講演>1.6万、第75回<先住民民族講演>1.4万、第76回<ポエジア6>147円、第77回東京例会5万、第78回<レクチャーコンサート>6千
連絡費	70,000	36,569	ポーレ発送・はがき・切手他
編集費	30,000	13,200	ポーレ印刷費(87号)
会合費	20,000	22,866	運営委員会6回
事務費	25,000	25,826	用紙・文具・コピー代
雑費	1,000	4,622	ホームページサーバー、ドメイン他
予備費	304,557	0	
小 計	600,557	282,903	
次期繰越金	0	321,791	ゆうちょ銀行210,105円+現金111,686円
合 計	600,557	604,694	
演奏部会基金	【収入の部】	【支出の部】	備 考
前期繰越金	33,681		
映画班より	1,008		
利息(北洋銀行)	8		
合 計	34,697	0	次年度へ繰越
特別会計			
1 (雪像チーム)			
雪像チーム助成金	50,000	50,000	ポーランド大使館より/交通費・食費補助
2 (北大祭テント)			
北大祭テント助成金	50,000	50,000	ポーランド広報文化センターより/レンタル費用、テント登録費
3 (ポエジア6)			
ポエジア6経費		50,147	飲食費、広報費(ポーレ88・フライヤー印刷・発送)
一般会計より(調整額)	147		
ポエジア6助成金	50,000		ポーランド広報文化センターより
合 計	50,147	50,147	0

会計の監査にあたり、関係書類及び通帳を照合した結果、適正に処理されていることを確認しましたのでここに報告します。

2016年 10月 17日

北海道ポーランド文化協会 監査委員 齋田 道子 印

2017年度 会計予算書 (自2016年9月1日～至2017年8月31日)

【収入の部】	前年度決算	予 算	備 考
会 費	150,500	240,000	3千円×80人
寄付金	33,600	30,000	2016.9実績程度
雑収入	50,067	50	貯金利子等
小 計	234,167	270,050	
前年度繰越金	370,527	321,791	2016.9実績
合 計	604,694	591,841	
【支出の部】			
事業費	179,820	150,000	第30回総会3万、第78回例会5万、その他例会3.5万×2
連絡費	36,569	40,000	ポーレ発送、はがき・切手他(1.3万×3号)
編集費	13,200	40,000	ポーレ印刷費等(1.3万×3号)
会合費	22,866	25,000	運営委員会他(6回)
事務費	25,826	25,000	用紙、トナー、文具、コピー他(前年度実績)
雑費	4,622	5,000	ホームページサーバー、ドメイン他(前年度実績)
予備費	0	306,841	
小 計	282,903	591,841	
次年度繰越金	321,791	0	
合 計	604,694	591,841	